



松柏中学校アーカイブ通信 第14号 2024年7月16日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

「一人一研究発表会」の写真から

前号で紹介した「一人一研究発表会」についての続報です。1962年8月に「一人一研究発表会」(第12回)と記された記録を見付けました。するとスタートは1951年(昭和26年)ということになります。8月に開かれているのは、当時は2学期のスタートが8月末だったことからだと考えられます。(つまり夏休みが短かったのですね。)2学期の始業式と同じ日に実施した年度もあります。どうやら夏休みの自由研究の発表会的なものだったのでしょう。千丈小の(旧)講堂で、ステージに立ち、模造紙(「鳥の子用紙」)にまとめたものを使って発表しています。

ところが、右の2枚の写真を見てください。年月日が記されていませんが、これも「一人一研究」だというコメントが付されていました。何やら本格的ですね。しかも、写真の台紙となった画用紙には「中学時代1年生」に掲載されたことが記されていました。学研の「中1コース」と人気を二分した旺文社の月刊誌「中1時代」で紹介されたというのです。どなたか、この情報について御存知の方はいませんか。グラウンド内を走る下の写真はともかく、上の写真は堂々と公道(国道197号線)を走っていませんか?



一方、この2枚の写真からは、大きな発見がありました。グラウンド内を走る下の写真ですが、背景に注目です。旧校舎本館(左側)と仮称「管理棟」をつなぐ2階部分の空中廊下が写っているのではないですか。松柏中学校の旧校舎本館はあの「松村建築」だったと1963年度卒業生の方から話は聞いていたが、現存する松村建築の日土小学校にもこの構造が見られます。私が学んだ江戸岡小学校の旧校舎にも空中廊下がありました。(写真左)右が高学年の教室がある2階部分で、左の校舎の2階は放送室でした。(奥が校長室で、直下が職員室。)ちなみに左の写真は、1954年(昭和29年)10月の江戸岡小学校開校記念運動会の写真からです。万国旗が分かります。松柏中の旧校舎が松村建築であれば、採光を十分に意識した間取りや外観も特徴ですね。あの南側に張り出した階段に見られる窓の広さがそうでしょう。そしてやっぱり階段の構造(台形型に張り出した形)が気になります。

◆ 「研究」経過報告…12号の「池」ですが、整地段階の写真には見られませんでした。そして昭和24年と写真には記されていましたが、1955年(昭和30年)と翌年の各6月に「釣大会」を行っています。



アーカイブコースメンバーがアーカイブ活動を行いました。

7月10日(水)の午後、「きらめきタイム」のアーカイブコース20名が、市民図書館へ向かい、1980年(昭和55年)の「八幡浜新聞」と「八幡浜民報」精読調査活動を行いました。1980年というのは、今の校舎が完成した年にあたります。昨年度に引き続き、メンバーが当時の校区の地図の復元作業を行っていることもあり、関連資料を探そうと取り組んだものです。校区にあった商店の広告などを見付けると、用意した端末で撮影し、データで記録を行いました。(なお、写真の撮影に関して、著作権の問題は事前に図書館側と確認済みです。)

今学期の「アーカイブ通信」は今号が最後です。夏休み期間中は、「閉校記念誌」の編集作業に入ります。集まった資料の編年作業や、複数の資料からの重層裏付けなどで新たに分かった「事実」等を、2学期からの「アーカイブ通信」再開号で紹介していきます。14号までのバックナンバーは、松柏中学校のホームページのメニュー画面右上に表示されるバナーから、「松柏アーカイブ通信」をクリックすると、PDFデータで取り出せます。鮮やかなカラー写真で、あのときの松柏中をお楽しみください。